

読者コーナー

読者の皆さんの投稿を歓迎します。内容は自由ですが、掲載・不掲載の決定や文章上の調整は本紙で行ないます。匿名でもかまいませんが、内容確認などのため、必ず本紙と連絡がとれるようお願いいたします。手紙かハガキがファクスで送って下さい。

車イス20数台を寄贈

八幡屋の「社会への恩返しに」

「お世話になった病院や地域社会への恩返しに」と親と身内を次々不幸にした車椅子を二十数台も寄贈した男性がいます。八幡屋の植木俊和さん(五〇)です。植木さんは昭和三十六年東田中町(当時)に生まれ、幼い頃から虚弱で、「百本も二百本も注射を打たれた」ことから右手右足が麻痺。田中小を卒業して養護学校に通い、卒業後は工場などで働いてきましたが、癲癇の発作やそれを抑える薬の副作用もあって仕事に就くのが難しく、障害年金で生活。西区の多根総合病院には腹部手術や骨折入院などで「ほとんどの科のお世話になった」といいます。加えて、ここ数

年の間に、母親、祖母、父と励ましを受けてきました。車椅子の寄贈はそんな周困への恩返しに気持ちから、三年前に始まりました。同病院の各階に一台中、整形外科や脳神経外科の備品から、三階の病棟などに、計二十数台、一階フロアには五台以上が常備されています。



多根総合病院などに車椅子20数台を贈り、喜ばれている植木俊和さん(右)と同病院管理部長の四方秀樹さん(左)と同病院1階で

とはいえ一台中二万円の車椅子。年金を切り詰めて購入するのは容易ではありません。病院職員からは「もう無理せんでええよ」と気遣いの声も出ているそうです。植木さんは「せめて三十台までは」と意欲を見せ、最近では運送代節約のため「自分でタクシードライバーに頼む」と屈託なく笑う植木さん。その目には、障害ある身を励まし支えてくれた病院や地域への感謝が熱いほどに燃えているように見えます。

地域短信

あゆみバザー盛況

「住み慣れた街で安心して暮らしたい」という障害者の願いを実現するため、毎秋行なわれている「あゆみ福祉バザー」が今年も十一月三日に催された。主催はNPO法人大阪港あゆみ福祉社会が運営する「生活介護・あゆみ作業所(築港3)」。区民から寄せられた日用品などが同所の庭に並べられ、次々と売れた。写真：洋服一着分の生地を五十円で買った六十代女性(築港3)は「この贈呈式が十一月二十七日、月例の「ふれあい喫茶」の中で行なわれた。写真(右)が系道子代表、左が中川マナジヤ。玩具はアルミ缶・プルトップ回収による収入で購入した「大型ちびっこシステムキッチン」を受け取った同プラザの中川マナジヤは「料理に興



でブラウスを作ってもらいます。こんな形で役に立てて嬉しい」と話していた。同所は後日発行の礼状の中で、約二十五万六千円のバザー収入があったことを報告。「障害者の自立味を持てる本格的な玩具は子どもたちの素晴らしい遊び相手になるでしょう。心から感謝しています」と話していた。同グループは平成十二年、故西林充子さんの呼びかけで「幼児からお年寄りまでを対象にしたポランテアグループ」として発足。毎月第四日曜の「ふれあい喫茶ハッピー」を中心に様々な活動を展開。この十月には港区社会福祉協議会から感謝状が贈られ、系代表は「これからも仲良く楽しく、無理なくを合言葉に港区の福祉に貢献して参りたいと思っています」と話していた。六六五七三〇七一四。区民から寄せられた日用品などが同所の庭に並べられ、次々と売れた。写真：洋服一着分の生地を五十円で買った六十代女性(築港3)は「この贈呈式が十一月二十七日、月例の「ふれあい喫茶」の中で行なわれた。写真(右)が系道子代表、左が中川マナジヤ。玩具はアルミ缶・プルトップ回収による収入で購入した「大型ちびっこシステムキッチン」を受け取った同プラザの中川マナジヤは「料理に興

それぞれの涙 (池島1・勝部泰臣78歳) 貫い涙という言葉がある。だるうか。いい涙を見た。先の日本シリーズ。ファンのコールに応えた落合監督の別れの涙。選手一人一人の手を握り肩を抱きしめ流した秋山監督の涙。亡き母の死に目に会えなかったお詫びもあつたのかも。その姿に接した老婆の涙。同じ仏教徒としての心のふれ合い。いい涙は人が人であることを教えてくれる。今この国の断絶社会で失われつつある「人の心の大切さ」を呼び戻してくれ。 (池島3・46歳女性) ランナー花壇に真方の「苦勞を想像した」の苦勞を想像した。 (池島3・46歳女性) 決して緑が多いとはいえない港区ですが、八幡屋公園の花と緑は我が町の自慢だと日頃から思っています。しかし、その裏に市民の会のご尽力があったとは、対抗します。中学卒業時に音楽通の友達に「別れの曲」の歌詞を寄せ書きにサインしてくれましたが、音楽痴の私にはよく分かっています。港新聞の「三三三三案内」を見て、ぜひ映画で観たいと思います。読者プレゼントに応募しました。八幡屋公園は身近で自然に浸かれる大好きな公園。今度行ったらお花を、

それを管理している人たちの仕事を想像しながら自然を愛でたいと思います。 (田中・60歳男性) 世界ブランドめざし港区から羽ばたけ! (田中・60歳男性) 世界ブランドめざして工芸品づくりに情熱を燃やす淡路谷佳幸さんの記事(前号1面)に元気づけられました。今の若者については「気が強い」「粘りがない」など弱い面が言われがちですが、こんなたくましい若者が身近な港区にいないことを誇りに思います。これからは頑張りつつある若者を取り上げ、仕事がないなど本音の意味で苦しんでいる若者を勇気づけてあげてほしいと思います。 (八幡屋・60代女性) 「団塊つれづれ草」(4面に連載)のファンです。十月号は「船」がテーマでしたが、「解船」の面白い映像が、映画「泥の河」の映像が、渡船のいや、ほんまにの台詞に「思わす笑ってしまっ!天保山棧橋」や「弁天埠頭」の賑わいの描写には、今と比較でちょっと寂しくなりました。十一月号ではおやつをテーマに、はったい粉、ボン菓子、ボンせんべいなど昭和三十年代お菓子のオンパレード。そして「アジアコヒ」に大人の味を感じたという中学時代の思い出は私のもも重なり、思わず胸がキュン。しばし懐かしい思いに浸れる「団塊つれづれ草」。これからも楽しみをしています。 (市岡元町3)の絵手紙



「団塊つれづれ草」(八幡屋・60代女性) 「団塊つれづれ草」(4面に連載)のファンです。十月号は「船」がテーマでしたが、「解船」の面白い映像が、映画「泥の河」の映像が、渡船のいや、ほんまにの台詞に「思わす笑ってしまっ!天保山棧橋」や「弁天埠頭」の賑わいの描写には、今と比較でちょっと寂しくなりました。十一月号ではおやつをテーマに、はったい粉、ボン菓子、ボンせんべいなど昭和三十年代お菓子のオンパレード。そして「アジアコヒ」に大人の味を感じたという中学時代の思い出は私のもも重なり、思わず胸がキュン。しばし懐かしい思いに浸れる「団塊つれづれ草」。これからも楽しみをしています。 (市岡元町3)の絵手紙

催しガイド

自閉症児を応援する気工

自閉症児を応援する気工(NERG)ワークプロの気工エネルギー療法士が「自閉症児の体や心が少しでも楽になれば」と始めた。「気楽な参加」を呼びかけ、参加費無料、要予約。毎月第二・四土曜(十二月は二十四日、十一月は十四、二十八日)十五分九時十五分に弁天町市民学習センター(オーケ2007階)講堂で。事前予約不要。六五三四一四〇八〇尾田事務所。

港区で27年の実績「少人数丁寧指導」

①教科書を使って予習は超ばっちり! ②学校への提出物もきっちり指導! ③定期試験中は平常授業+40時間! ④副教科も軽視せずしっかりと指導!

★もちろん入試は春・夏・冬期講習で万全サポート!

学ぶ君は強くやさしくなれる!

試験の冬一緒に越えよう!

冬期講習生募集

小学1~6年	(12/23~1/7)	75分×16回	12,000円
小学1~2年	(12/23~1/9)	90分×32回	28,000円
小学3年	(12/23~1/9)	90分×45回	40,000円

本科要項

学年	科目	時間・回数(週)	月謝
小学3~6年	英算国	[授業90分+学校の宿題30分]×3回	10,000円
中学1・2年	英数国理社	180分×3回	18,000円
中学3年	英数国理社	180分×3回	20,000円

※小学生は曜日を各自選択 ※欠席してもふりかえ出席できるよ

エフォート学院

弁天3-14-8(西村ビル4F) ☎6572-8009(17~22時受付)

ドーナツ中央大通ライフ

至新橋 至赤坂

より良い余生のために自叙伝を!

音楽家として実績を積み、地域にも貢献してきたと自負していましたが、選りすぐりから、これまでの人生を一度まとめ、今後の弾みにつなげたいと冊子化を依頼しました。丁寧な聞き取りと、無駄のない綺麗な文章に満足しています。(60代女性、総料金9万円)

お話をききとり、冊子にしてお渡しします。400字(原稿用紙1枚)で千円が標準料金です。

港新聞・飯田編集事務所 ☎6571-4636

融資・国保のことなら...

港民主商工会

労働保険のご相談も民商へ!

港区夕風2-10-16 ☎6572-7867